

セグメント別戦略

各セグメントの製品情報や財務データの詳細はファクトブックをご覧ください。

決算関連情報 ファクトブック

ビニルアセテート

水溶性や接着性などの特性を持つポパール樹脂、液晶ディスプレイ用途のほか、洗剤などの個包装フィルムに使われるポパールフィルム、合わせガラス用中間膜として使用されるPVBフィルム、特殊アイオノマーシート<セントリグラス>、高いガスバリア性を持つEVOH樹脂<エパール>などを製造・販売しています。

競争優位性

- 原料モノマーから製品まで高い技術力に基づく一貫生産
- 高品質かつコスト競争力の高い多数の製品群
- グローバルネットワークを生かした安定供給体制と強固な顧客基盤
- お客さまへの価値提案力とマーケティング力
- アジア市場での成長加速のためのシンガポールテクニカルセンター開設(予定)

事業環境

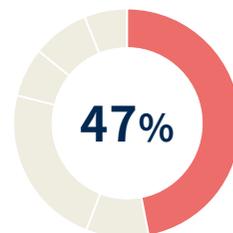
機会

- 液晶ディスプレイの大型化やデジタル化の加速による需要増加
- 新興国における生活水準向上に伴う食の安全・安心への関心の高まり
- 世界的なフードロス削減やリサイクル包材へのニーズの高まり
- 個包装洗剤の世界的な需要増加
- 環境意識の高まりに伴うバリア紙などの需要拡大

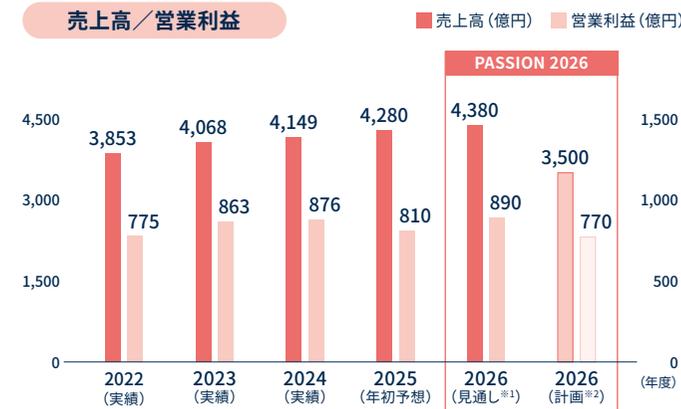
リスク

- 液晶ディスプレイ市場の成熟化、有機ELディスプレイの市場拡大
- カントリーリスクの高まり
- 原材料の価格高騰と為替の急激な変動

売上高構成比率



売上高／営業利益



※1 2025年2月公表 ※2 2022年2月公表

「PASSION 2026」の戦略と進捗

事業	戦略	これまでの進捗
ポパール樹脂	<ul style="list-style-type: none"> -原料から自社で生産する強みを背景に、強固な供給体制を維持 -量から質(新規用途、高付加価値品)への転換を継続 	高付加価値製品シフトをさらに推進するとともに、グローバルサプライチェーンの強化・最適化を進めました。
光学用ポパールフィルム	<ul style="list-style-type: none"> -需要拡大および市場の中国シフトを的確に捉えた生産販売体制の強化 -高透過、薄膜などの顧客ニーズに合った付加価値製品の投入、拡大 	液晶ディスプレイ大型化による広幅フィルムの需要増に対応するため、倉敷事業所の生産ラインを増設し、2024年第2四半期から稼働を開始しました。
水溶性ポパールフィルム	<ul style="list-style-type: none"> -需要拡大に対応した適時の生産能力拡大により、市場への安定供給体制を強化 -新規用途・生分解性、バイオベース原料への転換推進、循環型社会へ貢献 	水溶性ポパールフィルムの世界No.1サプライヤーとして、今後の市場の拡大に合わせて安定供給可能な体制を整えています。2024年にポーランド新工場での生産を開始しサプライチェーンを強化しました。
高機能中間膜	<ul style="list-style-type: none"> -独自の合わせガラス用中間膜製品である特殊アイオノマーシート<セントリグラス>の拡大 -欧・米・韓各拠点からの供給体制の強みを生かすとともに、新規開発品の立ち上げを加速 	<セントリグラス>の旺盛な需要に応えるためにグローバルでのサプライチェーンの最適化を推進しました。自動車用高機能フィルムはアジアの新規顧客での採用が進み、販売が拡大しました。
エパール	<ul style="list-style-type: none"> -安定供給体制の強化、アジアでの新プラント建設 -食品包装用途の需要拡大に対応し、フードロス削減およびサーキュラーエコノミーに貢献 	食品包装用途での新規用途開発などにより販売が拡大しました。グローバル安定供給体制強化のため欧米でデボトル増強を実施するとともに、シンガポールでの新プラント建設を決定し、2026年末の稼働開始を予定しています。

セグメント別戦略

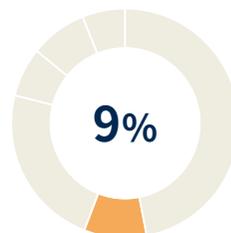
各セグメントの製品情報や財務データの詳細はファクトブックをご覧ください。

決算関連情報 ファクトブック

イソプレン

合成法によるイソプレンケミカル製品群と、その派生品である熱可塑性エラストマー〈セプトン〉や耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉を製造・販売しています。

売上高構成比率



売上高／営業利益



※1 2025年2月公表 ※2 2022年2月公表

競争優位性

- ・ 独自技術に基づく多数のユニーク製品群
- ・ 顧客ニーズに応える高い技術サービス
- ・ タイ新拠点を加えたグローバルネットワークによる安定供給体制
- ・ お客さまへの価値提案力とマーケティング力

事業環境

機会

- ・ 自動車の軽量化、電子制御化、EV化に向けた素材開発ニーズ拡大
- ・ 次世代通信規格に対応したハイエンド素材ニーズの拡大
- ・ 環境意識の高まりに伴う環境低負荷素材、バイオ系素材の需要増加

リスク

- ・ 原燃料の価格高騰や調達難、為替の急激な変動
- ・ 半導体の供給不足による自動車および電気・電子製品の減産
- ・ 競合の低価格戦略などによる市場の侵食

「PASSION 2026」の戦略と進捗

事業	戦略	これまでの進捗
イソプレンケミカル 	<ul style="list-style-type: none"> - オンリーワン製品のさらなる拡販 - 新規開発品の早期事業化と収益への貢献 - サステナビリティへの対応推進(原料転換・プロセス改良によるGHG排出削減) 	<p>オンリーワン製品の拡販では、タイ拠点の稼働で生産能力増となったMPD(3-メチル-1,5-ペンタンジオール)が、自動車販売増によりカーシート用合皮向け需要が伸長したほか、アルコール系溶剤〈ソルフィット〉は安全性や溶解力が評価され洗浄剤需要が伸びました。</p>
エラストマー 	<ul style="list-style-type: none"> - 〈セプトン〉のグローバル供給体制の強化 - 液状ゴムの米国でのプラント建設 - サステナブル原料・高付加価値品の開発体制の推進と販売拡大 	<p>〈セプトン〉はタイ生産品を含め拡販を進めました。鹿島事業所にてバイオマス原料や再生原料を用いた製品でISCC PLUS認証(国際持続可能性カーボン認証)を2025年2月に取得しました。今後この認証を用いて環境貢献製品の拡大を進めていきます。</p>
ジェネスタ 	<ul style="list-style-type: none"> - 自動車の軽量化・電子制御化・EV化による部品での採用拡大 - 欧・米・アジアをはじめとするグローバル市場へのさらなる展開 - タイ第2期増設の検討 	<p>車載電子制御部品のコネクタや自動車部品における新規採用が進みました。また、生成AIに牽引され、データセンター向けコネクタおよびパソコン関連部品向け需要が拡大しています。</p>

機能材料

高い吸着性能を生かし、水や大気の浄化に使用される活性炭および水処理機器、天然歯に近い修復を可能にする歯科材料、透明性や耐候性に優れるメタクリル樹脂を製造・販売しています。

競争優位性

- 高い技術力と品質による付加価値の高い製品展開
- 活性炭の総合メーカーとしてのグローバルネットワークを生かした供給力と販売力
- お客さまへの価値提案力とマーケティング力

事業環境

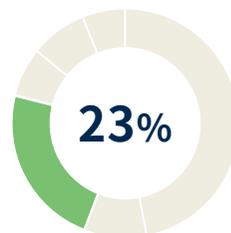
機会

- 世界的な環境規制の強化による水、大気の浄化ニーズの高まり
- サーキュラーエコノミーの世界的な広がり
- エネルギー関連市場の拡大
- 生活水準の高まりに伴う審美歯科需要の拡大
- CAD/CAMを駆使した歯科技工のデジタル化
- 自動車の高度化に伴う透明性、光学特性を生かした素材開発ニーズの高まり

リスク

- 活性炭製造プロセスにおけるGHG排出
- 原材料調達難によるコスト競争力と供給能力の低下
- 原燃料の価格高騰と為替の急激な変動

売上高構成比率



売上高／営業利益



※1 2025年2月公表 ※2 2022年2月公表

「PASSION 2026」の戦略と進捗

事業	戦略	これまでの進捗
環境ソリューション 	- 総合活性炭メーカーの強みを生かし収益拡大 - 新炭および再生炭の能力増強による事業拡大とシナジー発現の本格化 - 電材、モビリティ向け、GHG排出削減関連の開発	PFAS対応などの新規事業機会を活用するために、新炭、再生炭、機器、技術サービス提供能力の拡充を進めており、ベルギー再生炭設備増設に続き、2024年に米国新炭設備増設、米国での産業用再生炭事業買収を実施しました。電材、モビリティ向けの開発では、日米共同で主要顧客と製品要求特性を詰める作業を継続しました。また、GHG排出削減に向け、新規バイオ由来原料の採用を検討しています。 (P.18)
メディカル (歯科材料) 	- CAD/CAM分野への高付加価値新製品の継続投入 - グローバルな拡大に向けた製品供給体制の強化	高付加価値のCAD/CAM関連材料開発を推進しています。供給体制の強化では、2023年に投資決定した三好工場における無機系歯科材料の能力増強工事に着工し、2026年下期の稼働に向けた準備を進めています。また、効率的かつ最適なグローバルサプライチェーン構築に向けたシステムを開発中です。
メタクリル 	- 次世代を見据えた高付加価値材料・技術の開発と具現化 - リサイクルシステム確立、生産プロセス革新	新開発の印刷密着性を高めた押出シートがアクリルスタンド用途で大きく伸長しました。リサイクル原料を活用した成形材料はISCC PLUS認証 (国際持続可能性カーボン認証) を取得しました。また、製品構成・生産能力の最適化に取り組み、競争力を強化しています。
アクア 	- 独自技術を生かした膜事業強化 - 環境ソリューション事業とのシナジーによる環境関連ビジネスの推進	半導体製造における水処理分野で、高性能膜モジュール(ピュリア)GLの採用が広がりました。環境ソリューション事業部が有する人材・ネットワークを活用し、顧客開拓活動などを推進中です。

セグメント別戦略

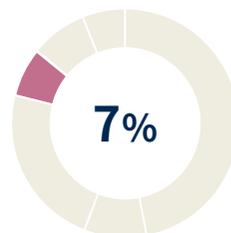
各セグメントの製品情報や財務データの詳細はファクトブックをご覧ください。

決算関連情報 ファクトブック

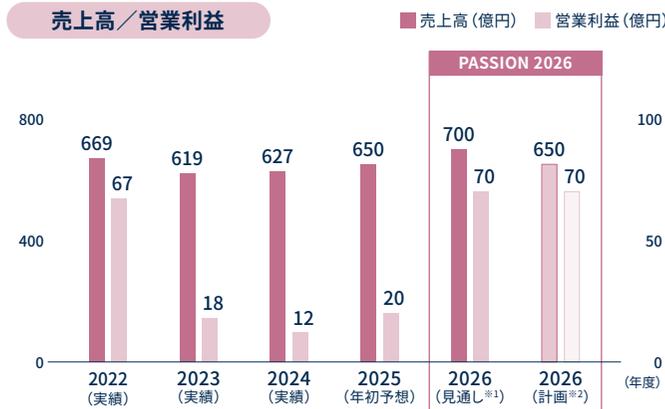
繊維

セメント建材や自動車関連部品の補強材などに使用されるビニロン、天然皮革に近い構造と機能性を兼ね備えた人工皮革〈クラリーノ〉、高強度・低吸水性などの特長を持つ液晶ポリマー繊維〈ベクトラン〉、生活・工業用品向けメルトブローン不織布、面ファスナー〈マジックテープ〉などを製造・販売しています。

売上高構成比率



売上高／営業利益



※1 2025年2月公表 ※2 2022年2月公表

競争優位性

- 多様な樹脂を多様な独自紡糸技術で繊維化
- サステナブル製品の開発と積極的な展開
- 顧客用途の評価技術も含めた価値提案力とマーケティング力

事業環境

機会

- アスベスト規制など社会的な対策強化
- 環境意識の高まりに伴う環境低負荷素材・製法のニーズ拡大
- 各種産業用製品の高性能化に伴うハイエンド素材のニーズ拡大

リスク

- 新興国品や他素材との競合
- 原燃料の価格高騰や調達難、為替の急激な変動
- 輸出ビジネスにおける海外物流の混乱

「PASSION 2026」の戦略と進捗

事業	戦略	これまでの進捗
 クラリーノ	- リサイクル原料やバイオ原料を使用したサステナブル製品の拡大、環境対応型の製造・加工プロセスへのシフト - サプライチェーンのグローバル化に対応した供給体制の拡充	主力のスポーツシューズ用途やラグジュアリー製品用途をはじめ、さまざまな用途で、リサイクル原料を使用した製品や、製造工程で有機溶剤を使用しない環境対応型製造プロセスによる製品の採用が増えています。
 繊維資材	- 素材の特長を生かした〈ベクトラン〉の拡大 - ビニロンのゴム補強やコンクリート補強用途などへの資源集中、およびアスベスト代替などの環境規制対応による拡大	〈ベクトラン〉は高強度・低吸水性などの特長を生かし、産業資材用途で順調に採用が増えています。ビニロンの既存用途は需要低迷の影響を受けましたが、CO ₂ 削減効果が期待できる差別化品などの拡販を進めています。
 ファスニング	- 環境対応型製品やサステナブル素材の拡大 - 顧客の製造工程における省力化ニーズに対応した〈マジックテープ〉など、独自製品の拡大	再生ポリエステル系を使用した業界唯一のリサイクル可能な環境対応型〈マジックテープ〉や、クラレグループの特殊樹脂を使用し柔軟性と係合耐久性に優れた結束バンド用面ファスナーなどを発売し、拡販を進めています。

トレーディング

ポリエステルをはじめとする繊維製品の製造・販売のほか、クラレグループ製品の国内・アジア地域での販売を行っています。

競争優位性

- ・クラレの特殊原糸を使用し、縫製品までの一貫したサプライチェーンを構築
- ・アジアの拠点では、技術サービス、生産フォロー、販売活動を実施し、事業拡大に貢献

事業環境

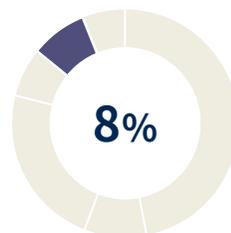
機会

- ・健康志向によるスポーツ、アウトドア製品市場の拡大
- ・主力市場であるアジア圏の経済成長や経済連携

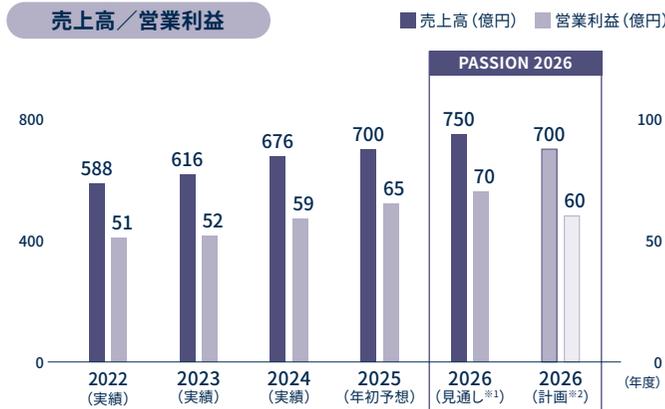
リスク

- ・原材料価格の高騰と為替の急激な変動
- ・地政学的リスクの顕在化や、サプライチェーンの混乱

売上高構成比率



売上高／営業利益



※1 2025年2月公表 ※2 2022年2月公表

「PASSION 2026」の戦略と進捗

事業	戦略	これまでの進捗
繊維関連 	独自製品・加工ビジネス拡大 - ポリエステル長繊維<クラベラ>の原糸、生地販売から、ウェアラブルギアを含む製品販売へのシフト - 付加価値加工製品の拡大	衣料分野では、国内および中国でのスポーツアパレル・アウトドア向けに生地・縫製品販売が順調に拡大しており、ベトナムの協力工場の縫製設備とプリント設備の能力増強を2024年も段階的に進めました。資材分野では注力している人工皮革<クラリーノ>の自動車用途が拡大しました。そのほか、優れた速乾性とドライ感を有する新規繊維<エプシロン>の拡販や、従来の分割繊維<ランプ>にリサイクル原料を使用した<ランプ>環境対応グレードを上市し、環境対応を重視する顧客に展開を始めました。
化学品・化成品関連 軟質成形材料<クライン>	海外ビジネス拡大 - 成長するアジア市場に特化した海外展開 - ベトナム生産拠点の活用	海外拠点の機能活用によりアジア市場の需要獲得に注力しており、中国を中心とした同市場での販売が拡大しました。また、付加価値加工製品の軟質成形材料<クライン>の販売が順調に拡大しており、岡山工場に建設した新規生産設備が、2025年6月に稼働開始予定です。